

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
73110	2	前期	必修	1	30
授業科目名 (英文)	クリティカルシンキングⅡ (論理的思考の展開) (Critical Thinking Ⅱ)				
担当教員名	宮本 千津子/安藤 瑞穂/平田 美和/大西 淳子				
授業の概要及び到達目標					
<p>クリティカルシンキングⅠで学んだ汎用的な論理的思考アプローチを、医療・看護における人びとへの援助方法へと発展させ、その目的と方法について学修する。具体的には、看護における論理的アプローチの目的と方法(看護過程)、看護理論に基づく対象の包括アセスメントの方法、臨床推論による焦点的アセスメントの方法、および看護診断について、事例を用いた演習を通して学ぶ。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護における論理的アプローチの意義、目的と方法が説明できる。 2. 看護理論に基づき対象の全体像を把握し、看護の必要性とアセスメントする方法が説明、実践できる。 3. 包括アセスメントにより仮定した看護の必要性に応じた焦点的アセスメントを行い、看護診断を確定する方法が説明でき、実践することができる。 4. 標準化された看護介入を対象の全体像に照らして個別化し、看護目標と評価基準を設定するとともに、看護計画として立案する方法が説明、実践することができる。 					
準備学習等					
授業に参加し、学習を深めるための事前課題を單元ごとに提示するので、配布資料や参考文献を用いて、主体的に取り組むこと。					
成績評価の方法	授業中の発言や演習への取り組みの授業参加状況：50% 演習レポート：25% 最終試験：25%				
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・T.ヘザー・ハードマン, 上鶴重美 原書編集/上鶴重美訳, 「NANDA-Ⅰ看護診断 定義と分類 2018-2020」原書第11版, 医学書院, 2018. ・茂野香おる他, 「系統看護学講座 専門分野Ⅰ基礎看護学[2]基礎看護技術Ⅰ」第17版, 医学書院, 2019. ・任 和子他, 「系統看護学講座 専門分野Ⅰ基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ」第17版, 医学書院, 2017 				

参考図書	授業の中で提示する
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目は基礎看護援助実習Ⅱの履修前提条件となる。 ・チームティーチングにより学生の参加型授業を行う。 ・各教員のオフィスアワーについては看護学科「オフィスアワー」の項を参照ください。
授 業 計 画	
第1回	看護における論理的アプローチの意義、目的と方法/講義
第2回	対象の全体像の把握と看護の必要性（問題）のアセスメント① ・対象把握の方法（①：情報収集・整理）
第3回	対象の全体像の把握と看護の必要性（問題）のアセスメント② ・対象把握の方法（②：情報の解釈）
第4回	対象の全体像の把握と看護の必要性（問題）のアセスメント③ ・対象把握の方法（③：情報の分析）
第5回	対象の全体像の把握と看護の必要性（問題）のアセスメント④ ・対象把握の方法（④：全体像）
第6回	対象の全体像の把握と看護の必要性（問題）のアセスメント⑤ ・対象把握の方法（⑤：仮看護診断）
第7回	看護の必要性に応じた焦点的アセスメントと看護診断① ・看護問題に基づく焦点的アセスメントとその方法
第8回	看護の必要性に応じた焦点的アセスメントと看護診断② ・アルゴリズムを用いた焦点的アセスメントの方法（①：アルゴリズムの作成）
第9回	看護の必要性に応じた焦点的アセスメントと看護診断③ ・アルゴリズムを用いた焦点的アセスメントの方法（②：アルゴリズムの検討）
第10回	看護の必要性に応じた焦点的アセスメントと看護診断④ ・アルゴリズムを用いた焦点的アセスメントの方法（③：アルゴリズムの活用）
第11回	標準化された看護介入を用いた看護計画の立案と評価/講義・演習
第12回	看護の論理的展開の実際：統合演習（①：アセスメント）
第13回	看護の論理的展開の実際：統合演習（②：看護計画立案）
第14回	看護の論理的展開の実際：統合演習（③：発表）
第15回	まとめ
最終試験	